

SDGsの広がり 人権と市民組織の目線から 捉え直す

～ 災害時も平時も 誰一人取り残さない地域社会を目指して ～

SDGsが広く認知されるようになった日本の各地域において、それを実現していく上では人権の理解と、多様な主体間でのパートナーシップ構築における相互の社会的役割(存在意義)の理解、中でも市民組織に関するそのような理解が進むことも重要です。また、災害が増える中、災害時の誰一人取り残さない支援においても、人権意識や市民組織の存在が重要になってきています。本セミナーはそれらの理解が広く進むことを目的とし開催します。

日 時

10月17日(木) 10:00～12:00

9:40 受付開始

場 所

富山県民共生センター「サンフォルテ」307室

富山県富山市湊入船町6-7

内 容

● 基調講演

SDGsの広がり人権と市民組織の目線から捉え直す

～災害時も平時も誰一人取り残さない地域社会を目指して～ …… 川北 秀人 氏

● 事例紹介 & ディスカッション

講師：川北 秀人（かわきたひでと） IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所] 代表者
1964年大阪生まれ。87年に京都大学卒業後、(株)リクルートに入社。国際採用・広報・営業支援などを担当し、91年に退職。その後、国際青年交流NGOの代表や国会議員の政策担当秘書などを務め、94年にIIHOE設立。NPOや社会責任志向の企業のマネジメント、市民・事業者・行政などが総力を挙げて地域を守り抜く協働・総働の基盤づくり、企業のみならず、NPOや自治体における社会責任(CSR・NSR・LGSR)への取り組み推進を支援している。



参加費

無 料 (定員50名程度)

お申し込み



<https://forms.gle/BcSDy9iXoktyBGQE7>

お問い合わせ

一般社団法人 環境市民プラットフォームとやま(PECとやま)

tel : 076-405-9340

mail : info@pectoyama.org



この事業は中央共同募金会「赤い羽根福祉基金」、および
令和6年能登半島地震 富山県災害支援金「とやまさえあい基金」の助成を受け実施しています。

赤い羽根
福祉基金